

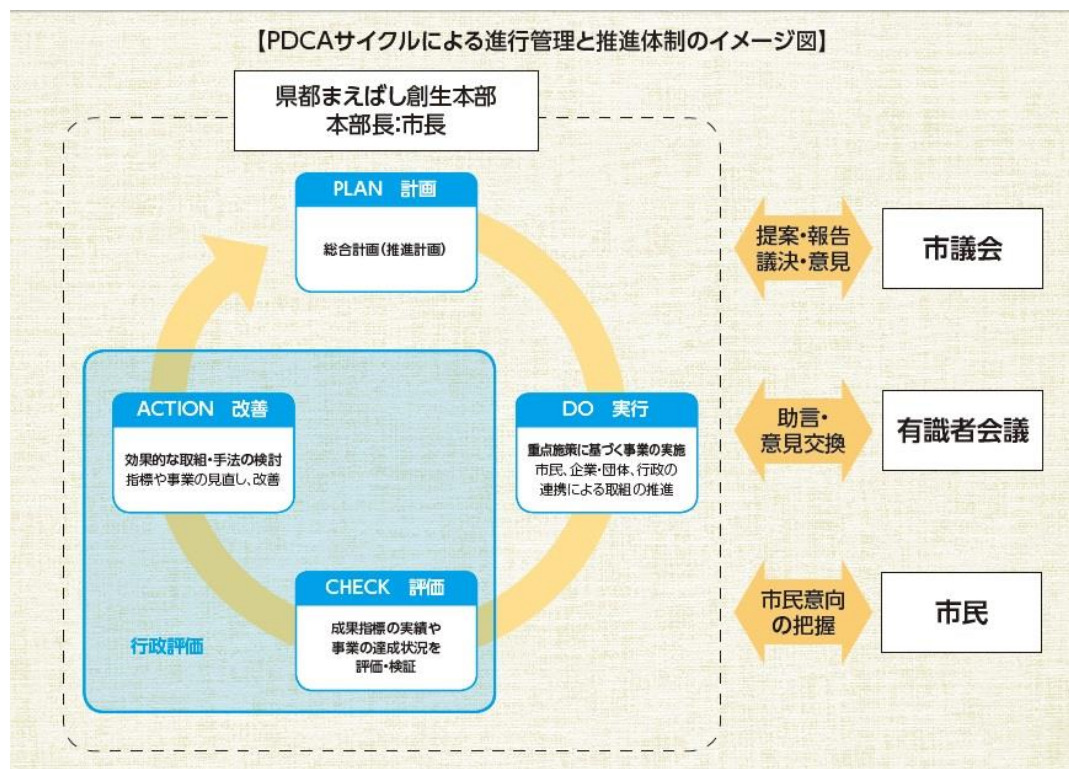
第七次前橋市総合計画の進行管理について

1 趣旨・目的

前橋市では、平成30年度からの10年間を計画期間とする第七次前橋市総合計画を策定し、将来都市像に掲げた「新しい価値の創造都市・前橋」の実現に向けたまちづくりをスタートさせました。

将来都市像の実現するためには、施策の成果を客観的に評価し、取組や手法を改善していくことが求められます。

本計画では、PDCAサイクルによる進行管理を行うこととしていますが、計画の実効性を高められるよう、まずはそのあり方について検討する必要があります。



2 評価手法

第七次前橋市総合計画の進行管理は行政評価を活用します。

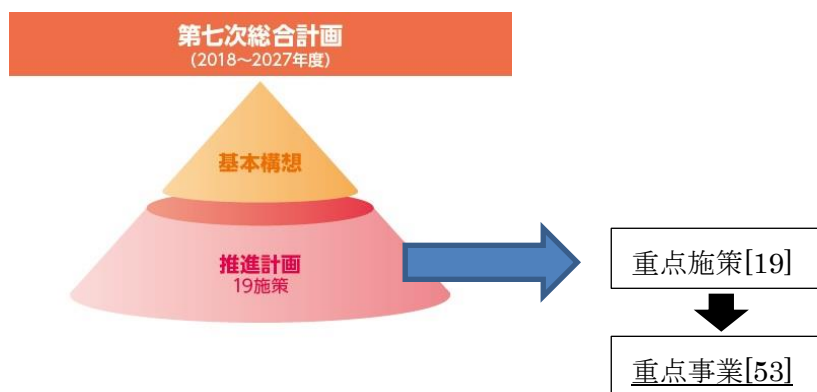
行政評価とは、行政活動を一定の目的・基準・視点によって評価し、その評価結果を事務事業の改善や次の計画立案に反映させていく仕組みです。

この仕組みを定着させることで、計画推進に当たっての目的意識を明確にするとともに、限られた資源で最大の効果を生み出す事業の展開に結びつけます。

3 評価対象

第七次前橋市総合計画における行政評価は、重点施策のもとで実施する 53 事業（重点事業）について実施します。

評価を通じて、重点施策で掲げた目標を達成するうえでの課題や問題点を把握し、次年度以降の取組や手法の改善に結びつけます。



4 評価項目

第六次前橋市総合計画では成果指標の実績値を中心とした評価となっていたが、第七次前橋市総合計画では成果指標の実績値と重点事業の取組状況、地域経営（※）という 3 つの項目で評価・検証を実施します。

さらに、評価結果を踏まえて浮き彫りとなった課題やその改善策をアクションプランとして整理することにより、計画の着実な推進に向けた事業の構成やその取組内容の見直しに繋げ、事業効果を高めていきます。

※地域経営…第七次前橋市総合計画ではこれからのまちづくりを進めるキーワードを「地域経営」としています。

ここでの「地域経営」は市民、企業・団体、行政それぞれが、「他人ごと」ではなく「自分ごと」として、地域の課題を捉え、自主的・自律的に、また連携して課題解決に取り組むことと定義しています。

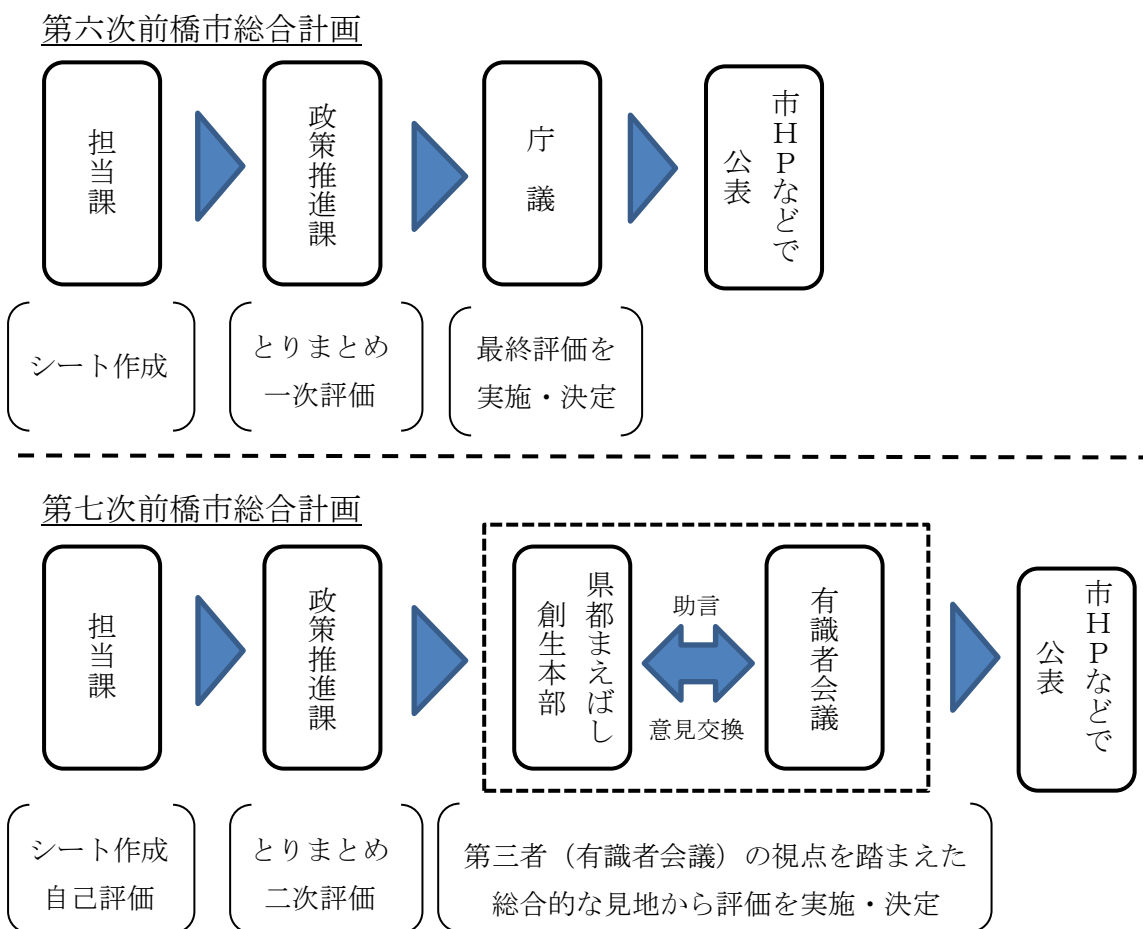
行政評価では、行政として市民、企業・団体に対してどのような働きかけを行い、その結果、市民、企業・団体の行動や意識にどのような変化が現れたかを評価の対象とします。

5 評価体制

第七次前橋市総合計画の進行管理は計画の策定について議論をしてきた「県都まえばし創生本部」のもとで実施します。

また、第六次前橋市総合計画では庁内組織による進行管理のみでしたが、今後は総合戦略事業と同じく、有識者会議の場を活用した進行管理とすることで、評価の公平性・客観性を確保します。

なお、評価結果は市ホームページなどで公表し、市政運営の透明性を確保します。



6 その他

第七次前橋市総合計画の進行管理については、県都まえばし創生本部及び有識者会議にて検討し、その結果を手法や評価シート案に反映させた後、10月から行政評価の試行を実施します。

さらに試行結果を踏まえ、再度手法や評価シート案の見直しを行い、平成31年度より新たな行政評価を本格稼働させます。

行政評価シート(案)

まちづくりの方向性			重点テーマ	
重点施策				
施策の方向性				

重点事業 No.		平成30年度 予算額(当初)	千円	平成30年度 決算額	千円
担当課		関連する総合戦略事業No.			
概要					

1.成果

成果指標	内容	単位		1年目 (平成30年度)	2年目 (平成31年度)	3年目 (平成32年度)
			目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
評価	評価理由と要因分析					

2.取組状況

関連する個別事業とその取組内容							
① ○○事業		＜平成30年度予算額(当初):			千円 → 決算額: ※記入不要 千円＞		
② ○○事業		＜平成30年度予算額(当初):			千円 → 決算額: ※記入不要 千円＞		
③ ○○事業		＜平成30年度予算額(当初):			千円 → 決算額: ※記入不要 千円＞		
活動指標	関連する 個別事業	内容	単位		1年目 (平成30年度)	2年目 (平成31年度)	3年目 (平成32年度)
				目標値			
				実績値			
				目標値			
				実績値			
				目標値			
評価		評価理由と要因分析					

行政評価シート(案)

3.地域経営

主体	地域経営に向けた行政による働きかけと各主体の行動・意識の変化	
市民	行政による働きかけ	
	市民の行動・意識の変化	
企業・団体	行政による働きかけ	
	企業・団体の行動・意識の変化	
評価	評価理由と要因分析	

4.自己評価(※)

評価

(※) 成果、取組状況、地域経営の観点による評価結果を踏まえた総合評価。
各観点におけるA(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)の積算により決定。
積算結果が11以上の場合はA、8～10はB、5～7はC、4以下はD。

5.課題とアクションプラン

対応すべき課題	具体的なアクションプラン

6.二次評価

評価	評価理由と今後の推進に向けて

行政評価シート(案)

まちづくりの方向性			重点テーマ	
重点施策				
施策の方向性				

重点事業 No.		平成30年度 予算額(当初)	千円	平成30年度 決算額	千円
担当課		関連する総合戦略事業No.			
概要					

1.成果

成果指標	内容	単位		1年目 (平成30年度)	2年目 (平成31年度)	3年目 (平成32年度)
			目標値			
	第七次前橋市総合計画にて重点施策(施策の方向性)ごとに設定した成果指標の進捗状況に応じて評価を行います。 【凡例案】 A 目標を達成できた B 目標を概ね達成できた C 目標を一部達成できた D 目標を達成できなかった					
評価						

2.取組状況

関連する個別事業とその取組内容									
① ○○事業		＜平成30年度予算額(当初)：				千円 → 決算額： ※記入不要 千円＞			
② ○○事業		重点事業の下で実施する事業(関連する個別事業)の取組内容や活動指標の実績が当初の計画どおり実施できたかといった視点で評価を行います。 【凡例案】 A 計画どおりに取組を実施できた B 概ね計画どおりに取組を実施できた C 一部計画どおりに取組を実施できた D 計画どおりに取組を実施できなかった							
③ ○○事業									
活動指標	関連する 個別事業				実績値				3年目 (平成32年度)
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
評価		評価理由と要因分析							

行政評価シート(案)

3.地域経営

主体		地域経営に向けた行政による働きかけと各主体の行動・意識の変化
市民	行政による働きかけ	地域経営に向けた行政から市民、企業・団体に対する働きかけとその結果、各主体の行動・意識にどのような変化が生まれたかといった視点で評価を行います。 【凡例案】 A 地域全体で「自分ごと」として課題解決が図れている B 概ね地域全体で「自分ごと」として課題解決が図れている C 一部地域全体で「自分ごと」として課題解決が図れている D 地域全体で「自分ごと」として課題解決が図れていない
	市民の行動・意識変化	
企業・団体	行政による働きかけ	
	企業・団体の行動・意識変化	
評価		

4.自己評価(※)

評価	成果指標・取組状況・地域経営の観点による評価結果を踏まえた評価を実施します。
	【凡例案】 A 順調に進んでいる B 概ね順調に進んでいる C 少し遅れている D 遅れている

5.課題とアクションプラン

対応すべき課題	具体的なアクションプラン
	これまでの評価結果を踏まえ、今後の重点事業を推進する上で担当課が重要であると考える課題を左の欄に記載し、それに対するアクションプランを右の欄に記載します。

6.二次評価

評価	評価理由と今後の推進に向けて
	評価結果やアクションプランを踏まえ、重点施策で掲げている目標を達成するに当たって本事業の今後のあり方について評価を行います。 【凡例案】 現状維持 従来の取組を推進し、事業効果を維持する 事業拡大 取組内容を強化し、事業効果を向上させる 一部見直し 取組内容を見直し、事業効果を向上させる 事業見直し 事業自体を見直す